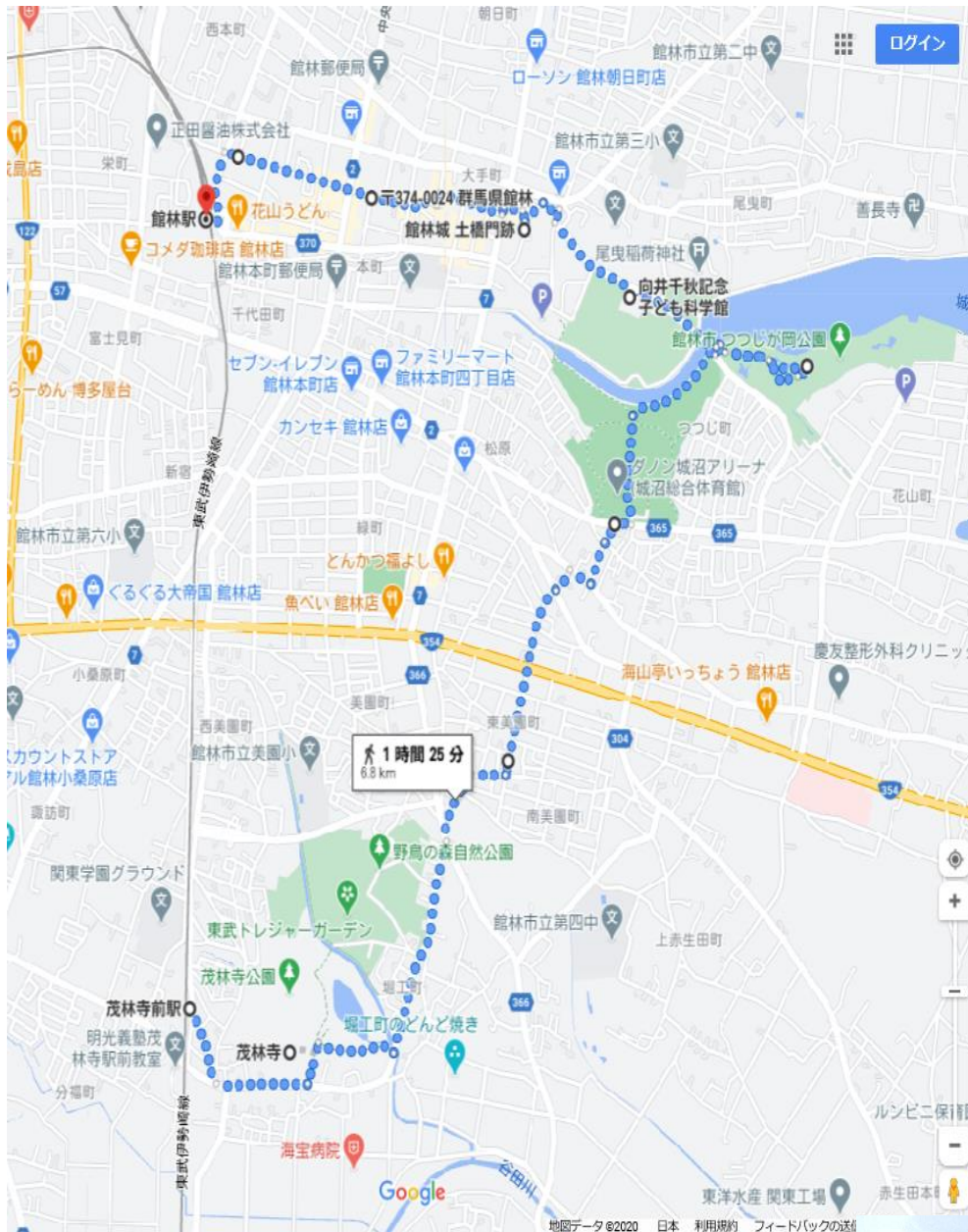


2020年12月度ハイキング（茂林寺と館林の街歩き）の報告 2020.12.04

2020年12月4日(金)、分福茶釜の茂林寺、茂林寺沼と低地湿原、つつじで有名な城沼、田山花袋記念館、館林城跡、城下町の街並み(歴史の小径)など、冬晴れの一日、自然と文化に触れるハイキングに出かけました。ハイキングルートは以下の通り。今回の参加者は10名でした。



- 9:30 茂林寺前駅⇒10分
- 10:10 茂林寺⇒5分
- 10:40 茂林寺沼⇒15分
- 10:55 小桑原公園⇒20分
- 11:15 城沼体育館⇒5分
- 11:20 つつじが岡公園
～12:20(昼食)⇒15分
- 12:50 田山花袋記念
文学館 ⇒5分
- 13:30 向井千秋記念
科学館⇒10分
- 14:40 館林城
土橋門跡⇒10分
- 14:50 歴史の小径⇒20分
- 15:10 館林駅

9:30 茂林寺前駅に到着
本日の概略行程説明ののち出発

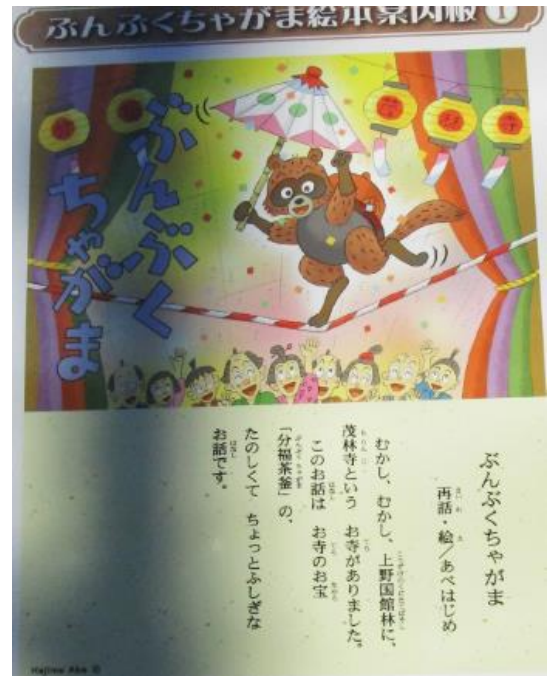


駅前には「ぶんぶく茶釜の物語の絵本」が立て看板として立ててありました。





9:35 茂林寺に向けて出発



「ぶんぶくちやがま」のお話を、細かくは思い出せなかったので、駅前からの絵本案内板から、物語をひろってみました。

(丸数字は案内板の番号)

①むかしむかし、上野(こうずけ)の国、館林に、茂林寺というお寺がありました。このお話は、お寺のお宝「分福茶釜」の楽しくて、ちょっと不思議なお話です。

②ある日道具屋さんが、村の道を歩いていると、タヌキが、ワナにかかってしまっていました。道具屋はかわいそうに思って、ワナからそとはずしてやりました。タヌキは傷ついた足をひきひき、草むらの中に逃げていきました。

③次の日の朝、昨日のタヌキが道具屋の所へやって来て言いました。「昨日は、本当にありがとうございました。お礼に、良いものを置いていきます。」しばらくすると大きな茶釜がそこにありました。

④「そうだ、茂林寺の和尚さんが、千人法会の時にもてなすために湯を沸かす茶釜がないって困っていたな。この茶釜は大きいから、届けてあげよう。」和尚さんは立派な茶釜を見て、大喜び。とても高い値で引き取ってくれました。

⑤千人法会の日は大忙し。茶釜は大活躍。どんどんお茶を入れても、茶釜のお湯は少しも減りません。後から後からお湯が沸いてくれるので、和尚さんは大助かり。

「なんと不思議なことも、あるものだ」

⑥その夜、和尚さんが眠っていると、茶釜の置いてある部屋から、怪しげな物音がしました。そっと覗いてみると、なんと茶釜が、タヌキに化けているではありませんか。和尚さんはびっくり。

腰を抜かしてしまいました。



⑦和尚さんは、やっとのことで皆を、呼びに行くと部屋に戻ると茶釜はもとの茶釜に戻って、こそりとも音もしない。

「和尚さん、夢でも見たのでしょうか」皆は和尚さんの話を信じませんでした。

⑧次の日、和尚さんは道具屋を呼んで、タベ見たことを話しました。「あとからあとから湯が沸くし、やはりこの茶釜は気味が悪い。いっそ、壊してしまおうか」

タヌキは話を聞いて、慌てて、頭を出し、手足を出して飛びあがりました。それ見た和尚さんも道具屋さんも、びっくり。

⑨「ごめんなさい。助けてもらった道具屋さんに恩返しが出来なかったんです。ずっとちじこまっていたので、身体が凝ってしまい、手足を伸ばしたら和尚さんに見つかってしまいました。」タヌキは和尚さんにあやまりました。

ところが、和尚さんは怒るどころか、大笑い。「あっぱれなタヌキの茶釜ではないか。千人法会は上手く行ったし、わしは大満足じゃ」

⑩「それより、このタヌキの茶釜、村の皆にも、是非見てもらいたいものじゃ」和尚さんがそう言うと、タヌキは喜んで、「おいら、踊りも踊れるよ。綱渡りだってできるよ」と、踊って見せました。



⑪お寺の境内に、演芸場ができました。「テンツクテンテン。」
「タヌキの綱渡り。踊りに、宙返り。みんなおいで」お寺の小僧さんたちが、太鼓を叩きながら、村中を廻りました。

⑫演芸場は大入り満員。笛や太鼓の音に合わせて、タヌキの茶釜が登場しました。タヌキは踊りながら、綱の上で宙返り。お客さんは大喜び。タヌキの茶釜は、大人気。遠くの町や村からも、毎日毎日たくさんの人が見物にきました。

⑬タヌキの茶釜のお陰で、たくさんのお金が入りました。和尚さんはそのお金で、村のために橋を作ったり、堤防を作ったりしました。そして和尚さんは「みんなに福が分けられた」とこのタヌキの茶釜を「分福茶釜」と名づけました。

むかしむかしの物語。今ではこの茶釜お寺で静かに眠っています。でもたまに夜中に手足を出して、辺りをちょこちょこ歩くそうですよ。(おしまい)

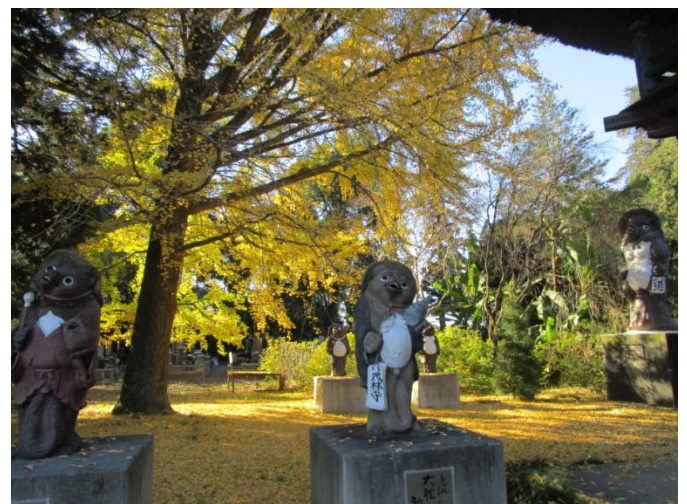


9:40 茂林寺山門
山門前の参道には
狸の像が両側に整列



青龍山「茂林禪寺」

本堂内部の宝物館へ入場。
「分福茶釜」などを拝観



茂林寺境内のラカンマキ(樹齢600年余り)



10:13 茂林寺沼遊歩道の紅葉



10:15 茂林寺沼見晴らし台にて



10:40 途中のコンビニで弁当を購入する方のため小休止中



10:45 経路途中の小桑原公園にて休憩



11:20
城沼運動公園着



メタセコイアもすっかり紅葉していました。



11:30 比較的風の弱い日なため
ゆっくり昼食



こんな像も・・・

12:30 昼食後、つつじが岡公園へ



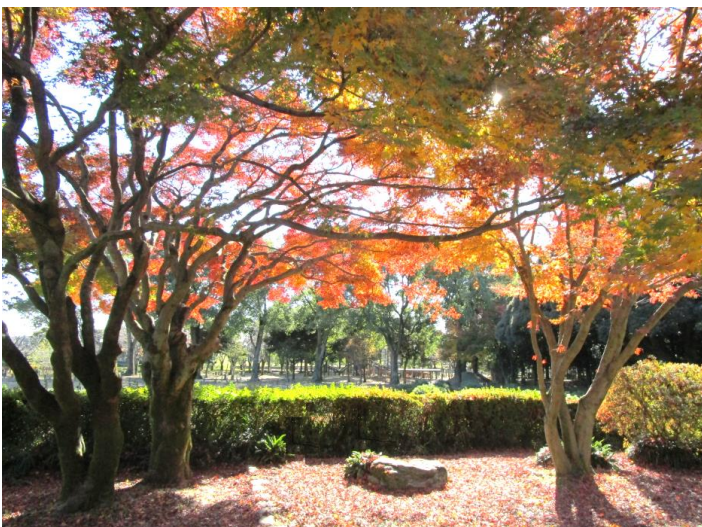


つつじが岡公園内の菖蒲園

12:40 鶴生田川の河畔の寒桜

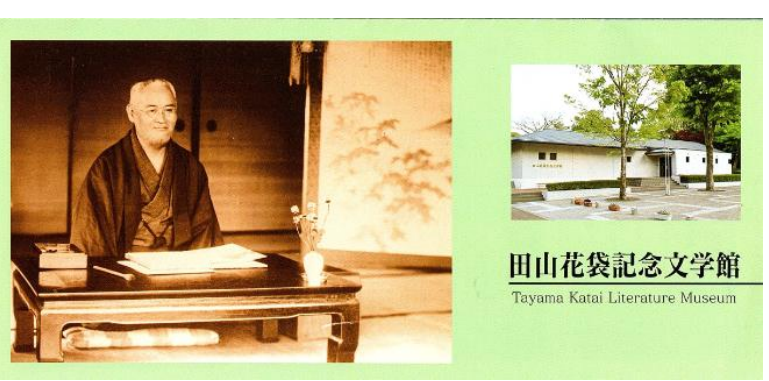


12:45
江戸末期1845年からの館林城主・秋元氏の別邸



庭の紅葉が見事でした





12:50 田山花袋記念文学館を見学



13:30 向井千秋記念子ども科学館を見学 集合写真

会場の入口にはウェルカムボードが出ていました。



13:45
まずは、入口
付近で案内の
VTRを見る



せん ない
スペースシャトルの船内



館内では皆さん興味深く観察や
展示物を楽しんでいました。

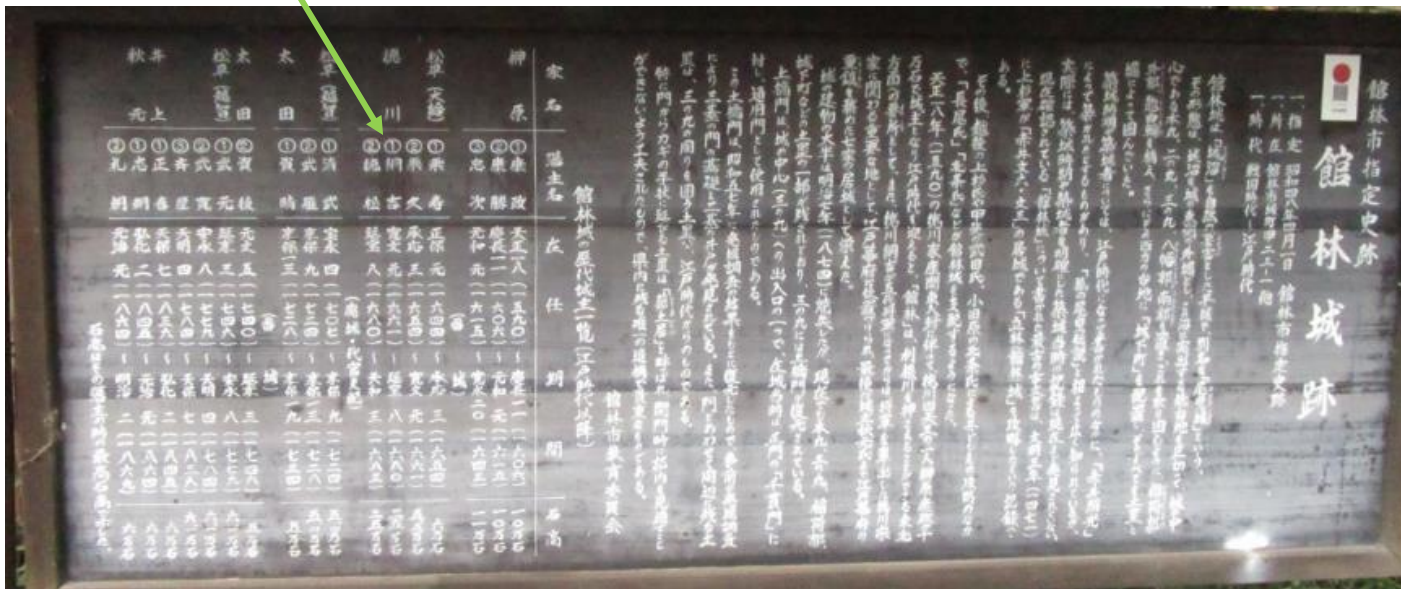


14:30 科学館をあとに館林市街へ



14:40 館林城土橋門跡へ

1661~1680 徳川綱吉が館林城主
この後、五代将軍となった。





14:50 長屋門へ



15:15 予定時間に館林駅へ到着
電車発車時間まで休息
皆さんお疲れさまでした。

前日の曇天、寒さと打って変わり、冬晴れに恵まれ、日なたを歩いていると暖かい一日でした。朝は冷え込み、皆さん寒さ対策をしっかりとって集合して頂きましたが、日中は一枚脱ぐ方も。

今回も平坦路とはいえ、10km近い距離のハイキングでした。ちょこちょこと寄る場所も多く、お疲れの方も多かったのではと思いますが、無事に皆さま完歩できたこと、幹事より感謝申し上げます。

参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回1月(当初 川越)および2月(当初 三崎漁港)の計画でしたが、皆さんと話し合った結果、コロナ感染症の広がりもあり、休止することとなりました。

3月については、計画は六義園(東京)ですが変更して、現在案では森林公園での観梅ハイキングを予定しています。

詳細は決定次第、お知らせ致しますので、皆さま多数のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗(ふる伝)